

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年3月24日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691700118
法人名	社会福祉法人 欣生会
事業所名	グループホーム 杜のかおり
所在地	鹿児島県志布志市有明町蓬原554番地6 (電話) 099-475-2224
自己評価作成日	令和2年2月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年3月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・平成29年8月1日より開設。3年目のグループホームになります。当法人は「誠心」の理念の基に支援を行う事となっており、その中には市域の方への「おかげさまの心」を持ち関わっていく事となります。地域の特徴としても畑がある田舎の風景が広がり、入居されている方も自宅で生活していた状況に近い環境で生活ができていると思います。特別力を入れている事というわけではありませんが、「まずは受け入れる」姿勢を持ち支援に繋がっていると思っています。認知症の方への支援の中で、気持ちを受け入れる姿勢もって関わりを持って行く事は大切な事でもあり、人の生活に携わっていく事を考えると重要な事と思われます。今後も、その気持ちを忘れず支援に携わることが出来ればと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は利用者が自宅で生活している状況に近い環境で支援し、散歩の時など気軽に挨拶や会話を交わし、野菜などをもらったりしている。
 ・自治会に加入し、地域行事に積極的に参加する一方、園芸や模擬店で賑わう事業所の夏祭りは恒例化し、地域の人々の楽しみに繋がっている。事業所主催の「みんなで作ろう会」は、毎月地域の人々と共に作品を作るなど、地域とは日常的に交流している。
 ・母体医療機関からの定期的往診や24時間医療連携体制が整っている。訪問看護ステーションとの健康管理や相談など連携を図っている。
 ・代表者や管理者は職員育成に力を入れ、資格取得に向けた支援を行っている。職員間のコミュニケーションも良く、各委員会の機能を十分に発揮し職員全体で資質向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	・「誠心（おかげさまの心）」と理念があります。法人の理念と同じ事になりますが、同様の事を理念として掲げることが支援の幅、支援の質に関わるものとしての考え、支援に繋いでいる。	理念を玄関や事業所内に掲示し、重要事項説明書・パンフレットにも記載している。申し送りで意識づけしている。部所会議や職員会議等で振り返り、月毎の目標を立て確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・地域集落の清掃作業への参加を勤務上状況に応じて参加をする様にしている。事前に案内を貰い参加するようにもしているが、天候等から参加できない事もあった。 ・運営推進会議で、地域代表の方に参加依頼をしている。 ・介護支援サポーター受け入れ	町内会に入会し、地域の情報を得、事業所からの情報も提供している。清掃活動など地域行事に積極的に参加し、法人の夏祭りにも多くの地域の人々の参加がある。中・高校生の職場体験学習、ボランティアの受け入れなども行っている。あくまきを作って地域に配るなど日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	・地域行事の参加をする事も地域交流、貢献の一つとして取り組んでいます。また、運営推進会議等で身近に認知症の方が居る場合等、必要な時は相談をして頂く様に伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・運営に関わる入居状況、要介護度、事故報告、行事、人員関係含め報告する事や協力医、駐在所、行政より意見を求め、感染症状況、時事情報等を交換している。</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の状況やヒヤリハット・外部評価の結果報告などを行い、委員からも多くの助言や提案がある。そこでの意見等を職員の勉強会で話し合い、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議に参加して貰い、意見を得ている。また、質問事項等は確認し意見を得る様になっている。</p>	<p>市担当者とは、窓口に出向いたり、電話で事業所の取り組みや実情を伝え連携を深めている。運営推進会議を通して協力関係もできている。市主催の研修会にも参加し情報を得ている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>・日頃の言動も含め注意し支援をしている。職員の言葉一つで行動を制限させてしまう事も含め、会議で話しをする事もあります。また、法人内の研修にて学ぶ機会もある。</p>	<p>外部講師による法人全体での研修や事業所でも毎月、身体拘束や権利擁護の勉強会を実施している。対象となる事例検討などで職員の共通認識を図り、言葉による拘束も含め、身体拘束をしないケアを実践している。日中は、玄関の施錠はせず、職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>・暴言、暴力、ネグレクトと虐待の種類はあります。法人内の研修等を通して学ぶ機会を持つ様にしている。職員自身のメンタル管理も含め対応していく事も虐待防止にも繋がってくると思われています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>・法人研修等を通して学ぶ機会を持っている。また、会議等を通して日々を振り返る必要がある事も伝えている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>・入居時に契約書、重要事項説明書等を説明し理解を得ている。また、要介護認定が変更された時、公的保険が外れた時にも、料金説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・意見箱の設置 ・家族からの意見に対しては親身に対応をしている。運営推進会議等で家族等からの要望については報告をする事もある。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、家族からは面会時や食事会を兼ねた家族会で意見を聞いたり電話で話している。食品の賞味期限についての助言があり、食生活の安全に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	・人事考課制度にて、アンケート、考課公表時に意見を求める様になっている。また、普段の業務の中でも意見を受ける様になっている。	管理者は部所会議や職員会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。人事考課制度も取り入れている。出された意見はケアの改善やケアの一貫性などに反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	・就業規則、給与規定あり ・職員が長く定着する事も含め、シフト調整等を行っている。休憩時間を設ける事も労働に対する負担の軽減に繋がっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・法人内の研修、介護職員の処遇改善加算における勉強会等を設けたり、外部の認知症実践者研修を受けたりと学ぶ機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・法人内の職員と研修会を通して交流を図る事は出来ている。 ・同業者との交流の機会が持てる様に調整をしている事もある。 ・大隅介護事業所連絡協議会加入		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・入居相談後に実調に伺い、実情を把握し、まずご本人との信頼を築きます。その後、環境の変化もあるので、安心できる様に寄り添います。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・ご家族が話をしやすい雰囲気作り、不安を取り除けるよう、理解を深めていきます。廊下に貼ってある行事の写真を観ていただき、ホームの理解の一助としています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・グループホームはどのような場所であるかを伝え、理解して頂いています。。ご本人の状態や家族の心境など配慮し、サービスに努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・基本的に出来る事は自分でして頂いています。洗濯物たたみ、食器の洗い物、入浴時の着替え洗濯等を共に行っていきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・家族との繋がりが大切なので、家族と連携を取りながら本人を支えていけるよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・家族や本人から聞き取り、思い出の場所や自宅へ行く時間が持てるよう支援しています。	これまで大切にして来た馴染みの人や場所を把握し、家族や親戚・知人の訪問の際にはお茶を出して一緒に飲んだりしている。馴染みの場所に出かけたり、訪問理・美容師の来所や買い物物の支援、電話の取次ぎなど、継続的關係が途切れないようにしている。家族の協力で外出・外泊・外食・ドライブ・墓参等に出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・職員が入居者間での会話が弾むような話題を提供したり、レクレーションや行事等で、良い関係が保てるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・サービス終了後も尋ねて頂いたり、相談を受ける等の体制作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・一人ひとり思いや意向は、生活の中で聞かれる言葉を含め、観察する事で把握に繋がっています。	入浴時や夜勤時・日々の関わりの中で個々人とのコミュニケーションを図り、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は、利用者の思いを家族とも相談し、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・これまでの暮らしについては主に入居時に確認しています。また、必要に応じ本人やご家族様へ尋ね確認する事にしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人様の能力、事故リスク等も考慮しつつ、現在の状況の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・介護計画は本人様、ご家族様、関係者からの意見を収集し作成している。また、モニタリングについては上記同様、意見の収集並びに日々の記録を元に行う様にしている。	本人や家族の意向を確認し、主治医の意見も踏まえ担当者会議で、個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日常の様子は支援経過記録、個人チェック表等に記入している。記録の確認を行う事や、意見を交わすこと等に努め、それらを状態の共有に職員間で繋げている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・その時々生まれるニーズに対して、情報、意見の交換を行い柔軟な支援に繋げている。柔軟なサービスの活用等については、今後の課題になります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	グループホーム周辺の地域資源は把握していると思うが、活用や協働していく事については、地域を含めた課題になると思っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・契約時、入所申込時に協力医の説明をし、了解を得ています。日頃の診察についても連携を図りながら支援に繋げています。24時間の連絡体制も図れている状態にあります。	かかりつけ医は本人や家族の希望でほとんど協力医療機関であり、24時間医療連携体制が整っている。毎週1回の訪問診療や必要時に歯科も往診対応である。他科受診は、家族の協力を得て支援している。訪問看護事業所との連携も図り、緊急時の対応などに適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・訪問看護事業所と連携を図り、健康観察、緊急時の対応等受けています。また、必要により質問し、情報を得ています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・入院時に医療機関への情報提供を行っています。また、入院中は医療機関からの情報収集を行い、家族との情報交換、相談をして退院支援をしています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・指針等は入居時に説明しています。また、状態によって今後の予測として相談をしています。その時にホームで行える事、難しい場合の提案等をさせて頂いています。また、法人施設への相談を行う事もあります。</p>	<p>入居時に指針を説明し、同意を得ている。状況変化に伴い本人や家族の意向を随時確認しながら医師を交えて話し合い、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。同法人施設の紹介もしている。看取り支援の対応に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・医療と連携を図る事、必要により質問し、対応をする様になっています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・避難計画等、作成し閲覧できる様にしている。また、運営推進会議にて地域への協力依頼はしている。緊急火災通報には職員、地域の方にも通報が行く様にしている。</p>	<p>消防署立会いのもと、年2回、昼夜想定による避難訓練を実施している。地震の訓練も計画している。スプリンクラーや緊急通報装置等を設置し、年2回設備点検を実施している。緊急火災通報には職員や地域代表にも連絡が行き、協力が得られている。防災無線で通報するシステムにもなっている。水・米・食料品・缶詰・インスタント食品・レトルト食品等の備蓄がある。カセットコンロ・ヘルメット・ランタン・懐中電灯等もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・個人の人格や尊厳を守っていく事は必要であり、意識して支援に繋がっていると思います。個人の特徴を生かした支援ができる様にしている。また、接遇についても注意する部分もあり、その都度、改善ができるように努めています。	接遇等の外部研修や部所会議で勉強会を行い職員の資質向上に取り組んでいる。誇りやプライバシーを損ねる言葉かけをしないケアに取り組んでいる。入室や入浴・トイレ誘導などでは羞恥心に対する配慮を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・「意思の表出」「自己決定」は大切と意識しており、尊厳を守る事にもなります。入居者様より言葉を貰った時は、報告をし支援に繋がっています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・一人ひとりの生活を大切にしながら過せる様には努めてはいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	・服装によって、その日の気分に変化がある事もあります。身だしなみを整えながらすごしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・食の好みを確認しながら、食べやすさ、色取りの工夫などを行っている。入居者様からも楽しみとの声も聞かれている。	献立は旬の食材を使用し、利用者の嗜好や食事の形態に配慮し作成している。職員と一緒にちまきや団子・お好み焼き等を作ったりしている。誕生日や季節の行事食など、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・摂取量、水分量の確認をしながら支援をしている。また、栄養状態に応じて医療に相談している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・自分で出来る方は、手順の声かけをし行って頂いている。口腔内の状態に応じて、歯科医師に相談し、指示を得て口腔ケアをしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	・排泄間隔、体調等を考慮して、排泄介助を行っている。個人で身体的、理解力の違いもあるが、状態に合わせてトイレでの排泄をして頂いている。	排泄パターンを把握し、必要に応じて声かけを行い、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。排泄用品は本人に合わせて使用している。夜間のポータブルトイレの利用者もいる。リハビリパンツから布パンツに改善した事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・便秘には食事水分量が関係しており、排泄間隔を見ながら、内服薬の調整、食品での調整をしている。認知症状もあり、排泄する事、トイレの場所を忘れる事もあり、個々に応じて支援をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	・曜日の設定はしているが、本人の意思を尊重し、入浴支援を行い、入浴を楽しみながら入る事が出来ている。	入浴は基本的に週2回、午前中に行っている。個々人の体調や希望にそって柔軟に対応している。入浴日以外は清拭を行い清潔保持に努めている。入浴剤も使用し、肌の保湿にも配慮している。状況で2人介助も対応している。入浴を拒む利用者にも声かけや時間調整など職員間で連携して、状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・一人ひとりの生活習慣、体調、気分を理解して、安眠と休息の支援が出来ている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・内服処方について医師、薬剤師に相談、確認をしながら服薬をしている。また、訪問看護に相談をし意見を得て医師に相談をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・一人ひとりが楽しく自分らしく生活を送る事が出来て、行事で季節を感じる事ができる様に支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	・外出支援を行う体制と考えはあります。入居されている方の思いも含めて実施できています。	日常的には周辺の散歩やウッドデッキでのお茶飲み・外気浴・ドライブ・買い物等に出かけている。計画を作成し、初詣・花見・夏祭り・墓参等に出かけ、特殊車両で車椅子の利用者も一緒に出かけている。家族の協力で外食・墓参・理美容院等に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・今現在は、金銭を所持したいと希望される方がいない為、ホームで預かり管理している部分もあり、そこから買い物等行える様にしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	・家族との繋がりを大切にと考えています。家族が面会に来られた時には、一緒に過ごして頂き、本人様の言葉を代弁して状況報告する事もあります。電話をした時はして頂いたり、年賀状などのやり取りもしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・限られた空間ではあるが、一緒に過ごす場所を選んでいただける配慮をしている。また、清潔感が保たれる様にし、不快感がないように努めている。	共用空間は天井が高く天窓があり明るい。ウッドデッキもあり開放感がある。採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。台所は対面式で会話し易い。ホールは広々として、壁には利用者の作品の習字や行事の写真・季節の飾り物・カレンダーなど掲示し、ゆったりしたソファで居心地よく過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・自室で過ごす事もありますが、一緒に居たい思いもあり、入居者同士で過されている。また、状況に応じて環境面の調整をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・自宅より家具や寝具など今まで使われていた物を持ってきてもらい、居室に入られた時「私の部屋だ」と分かり落ち着いて過せるようにしている。家族の写真なども飾っている。	居室は掃き出し窓でウッドデッキがあり広々としている。エアコン・ベッド・洗面台・タンス等が備え付けである。テレビ・時計・遺影・家族の写真・ぬいぐるみ等、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・カレンダー、テレビ、外の風景等から、時間や時期を確認して頂き、トイレや自室の案内表示等もあり、確認をしながら行える様にしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない